



兵庫の魅力について

兵庫県鍍金工業組合 中島 秀和
(日成化学鍍金工業株式会社)

この度、兵庫県鍍金工業組合の専務理事に就任しました、中島秀和でございます。

会社は兵庫県の東の端の尼崎市にあります。尼崎というと「ダウンタウンの街」というイメージが定着していますが昔は全国ネットで取り上げられるのが「監禁、発砲」というイメージで、よろしくない印象でしたが最近は住みたい街にランクインする位、変わりつつあります。

今回はインバウンド需要で京都と大阪に差をつけられている兵庫の魅力について改めてご紹介したいと思います。

兵庫県はかつて、「摂津、播磨、但馬、丹波、淡路」の5つの地域が合わさってできています。それぞれの地域に特色がありますが食の部分でいうと、全国的に知られている神戸牛はもともと但馬牛から始まっており、松坂牛や近江牛も但馬牛をルーツにしています。

また、丹波の猪肉を使ったボタン鍋は丹波の栗やドングリを食べた猪肉で脂が甘く、臭みが少なく、肉が柔らかいのが特徴です。

海の幸は兵庫県は本州で唯一日本海と瀬戸内海に接していて日本海では城崎のカニ、瀬戸内海では明石、淡路島周辺のタコ、鯛、アナゴ、ハモは有名で明石の「魚の棚商店街」は年末の中継の風物詩ですが私のお勧めは淡路島の「3年とらふぐ」です。養殖のふぐで

すが通常は2年のところを3年かけてじっくり育てるので大型で身が締まっています。農産物といえば淡路島のたまねぎや丹波の栗、黒豆は天皇家にも献上されている特産品です。そして山田錦は全国的にも有名です。

観光地でいうと兵庫県は世界遺産にも登録されている姫路城や神戸市は定番ですが最近では淡路島の西海岸通りというのも隠れた穴場です。昔はただのいなか道だったのが洋菓子店が出展してから一気にインスタ映えするということで若者の間で人気になり、今は予約をしないと入れない状況になっています。この通りは40kmにも渡って海岸通りを走り、サンセットの時間には水平線に沈んでいく夕日を見られると評判になっています。

そして淡路島には日本列島誕生の聖地と言われる伊弉諾神宮（いざなぎじんぐう）があります。祭られているのはイザナギノミコトとイザナミノミコトで日本を最初に創った神様です。神社そのものは派手さはありませんが樹齢900年近くになる夫婦大楠があります。

温泉地も鉄分が入っている金泉で有名な有馬温泉とアルカリ系の優しい城崎温泉があります。

このような食と観光を楽しめる兵庫県へ是非お越しください。